

多賀



No.68

令和4年10月1日発行

実るほど
頭を垂れる
稲穂かな

十月から三月の祭事暦

十月

- 古稀薙寿祭 十月 十三日(木)
- 神嘗祭遥拝 十月 十七日(月)
- 裏千家献茶式 十月 二十一日(金)

十一月

- 明治祭 十一月 三日(木)
- 金咲稻荷神社例祭 十一月 八日(火)
- 大宮祭 十一月 十五日(火)
- 新嘗祭 十一月 二十三日(水)

十二月

- 御煤払式 十二月 二十日(火)
- 大祓式 十二月 三十一日(土)
- 除夜祭 十二月 三十一日(土)

一月

- 歳旦祭 一月 一日(日)
- 元始祭 一月 三日(火)
- 古札焼納式 一月 十五日(日)

二月

- 節分祭 二月 三日(金)
- 紀元祭 二月 十一日(土)
- 天長祭 二月 二十三日(木)

三月

- 祈年祭 三月 十七日(金)
- 春季皇霊祭遥拝 三月 二十一日(火)

諸祭

- 御日供祭 毎日午前七時より
- 御朔日参り 元日を除く毎月朔日の午前七時より
- 月次祭 元日を除く毎月一日・十五日・二十八日

※新型コロナウイルスの感染状況により変更が生じる場合があります。

九月古例祭

九月九日重陽の節句、恒例の九月古例祭が斎行されました。このお祭りは郷中の秋まつりでもあり、お祭りの主役である頭人は多賀町内より輪番で選出されます。本年の頭人は大滝地区より三坊直氏が差定められお祭りをご奉仕されました。長引くコロナ禍により昨年、一昨年と規模を縮小した形でのお祭りとなりましたが、今年は色とりどりの衣装を身に着けたお稚児行列が新たにお渡りに加わり、お祭りに華を添える形となりました。



頭人
三坊 直
さんぼう ただし

昭和22年9月5日生（満75歳）
大瀧神社氏子総代 会長
多賀大社豊年講 大滝地区小世話係
一般社団法人 多賀観光協会理事
（多賀町 大滝地区）

講社大祭（献幣使）

九月二十八日、講社大祭が斎行されました。
本年の献幣使は八日市多賀講 講長辻野義美氏にご奉仕いただきました。

講社大祭献幣使を奉仕させて頂いて

八日市多賀講

講長

辻野 義美



令和の御代に入り、新型コロナウイルスが直撃して数々の行事が縮小及び中止され混迷を深める事態が長く続きました。この頃やっと復調の兆しが見えたかと思いきや全国で又もや新型コロナウイルスが猛威を振るう中ですが、大神様からのご縁を頂戴し本年の多賀講講社大祭献幣使を仰せつかりました。

平成五年度に当時八日市多賀講講長をお務めされていた西川平助氏が献幣使をご奉仕され、今年度は私がこの名誉あるお役をさせて頂くことになり、身に余る光栄と同時に身の引き締まる思いで御本殿におわします伊邪那岐命様・伊邪那美命様に謹んで全国二万五千人の講員様ご家族様の家内安全・延命長寿を御祈願させて頂きました。献幣使奉仕にあたりまして多賀大社宮司 片岡秀和様始めご関係各位にはご指導ご鞭撻賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

思えば四十二歳の時、父が亡くなった後八日市多賀講お世話係に就任させて頂き十年前からは同講長を承りまして、人生の大難を小難で切り抜ける事が出来ました。これも多賀大神様のお陰です。これからの人生も有難くお仕えしたいと思っています。

最後に全国の多賀講の皆様のご健勝とご多幸をご祈念いたしましてご挨拶とさせて頂きます。誠に有難う御座いました。

供奉者ご紹介

山田 藤雄氏 堤 慶次郎氏 佐藤 祥二氏
澤 伊三雄氏 上野 吉治氏



新嘗祭（豊年講秋季大祭）

十一月二十三日、豊年講員の献納による約五百俵の初穂米が拝殿に積み上げられ、一年の収穫を感謝する新嘗祭が斎行されます。

本年の豊年使は、地元多賀町八重練の大森隆雄氏にご奉仕されます。

豊年講秋季大祭豊年使を奉仕するにあたり

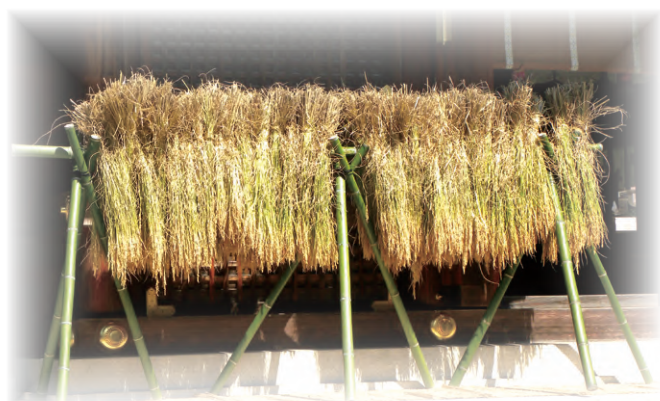
豊年使

大森 隆雄



此度、豊年講員の代表として新嘗祭の豊年使をご奉仕させて頂く事になり、大変恐縮しております。近年の体調から辞退するべきとも考えましたが、多賀の大神様からのご指名であると思い、日々精進を重ねて恙なく奉仕させて頂きたいと思っております。

私自身、地元多賀町八重練で育ち、幼い頃より多賀大社へはお参りしておりましたが、昭和五十一年には挙式・披露宴を行い、更には平成二十七年より多賀大社の氏子総代を六年間務めさせて頂いた事で、より一層多賀大社が身近な存在となっております。また、十一年前には前立腺癌が見つかり、全摘出手術を受ける事になりましたが、多賀の大神様のお蔭もあり現在は平穩に暮らせております。以前多い時は約五反程の耕作をしておりましたが、農機具の老朽化と会社勤めとの兼業により現在耕作は致していないものの、新嘗祭当日は秋の実りの感謝と豊年講員皆様のご平安をお祈り申し上げます。



多

賀

講

永年世話係表彰

今後かわらぬお力添えと、健やかにお暮らしの程お祈り申し上げます。
尚、現在登録の就任年月日より選出しております。

就任三十年世話係

三方上中郡 野村庄一郎
岐阜市 田中 敬二
下呂市 服部幸太郎
関津市 水野健一郎
草津市 福井安兵衛
彦根市 奥 弘司
甲賀市 山田 作男
名張市 深山 庄次
伊賀市 森島亀與一
度会郡 北村 徳郎
豊岡市 小川 勝一

就任二十年世話係

掛川市 鳥居 康男
飯田市 原 武義
下伊那郡 大原 茂彦
一宮市 伴 卓樹
知多郡 利根 千里
各務原市 坂井 久夫
郡上市 田中 直實
郡上市 渡辺 剛
揖斐郡 錦野 知夫
不破郡 西村 登
関津市 粥川 利明
草津市 奥村 貞男
東近江市 福井四十二
長浜市 曾我 淳
長浜市 宮尾 重信
長浜市 金沢 忠男
甲賀市 大平 喜一
甲賀市 橋本 潔
近江八幡市 浜野 清

就任十年世話係

東近江市 安川 善文
蒲生郡 森岡 召二
犬上郡 小林嘉津雄
長浜市 岸田 吉雄
長浜市 草野 清男
長浜市 桐畑 晋
伊賀市 佐治 恒夫
三重郡 福田 吉人
宇治市 古市 勝
木津川市 原田 勇
南河内郡 植木 一也
堺市 谷田 文男
川西市 秋庭 和幸
丹波篠山市 酒井 清
丹波篠山市 水井喜代子

掛川市 北田 直木
三方郡 早川 芳昭
一宮市 青木 賢治
知多市 勝寄 孝和
知多市 吉川 博夫
愛知郡 近藤 雅樹
大垣市 橋井 成生
大垣市 三輪富士夫
美濃市 川島 靖幸
美濃市 佐藤 勇
美濃加茂市 三輪登代子
郡上市 和田美智也
可児郡 田中 新一
関市 坂井 勇平
関市 佐藤 公由
大津市 上田 忠彦
東近江市 佐藤 祥二

(順不同・敬称略)

東近江市 澤 伊三雄
東近江市 富原 保江
東近江市 小島 秀雄
東近江市 中村多嘉一
彦根市 谷澤 勝美
彦根市 森澤敬太郎
彦根市 西村 平治
長浜市 宮崎 正喜
栗東市 片岡 兵蔵
栗東市 中井 建夫
甲賀市 山際 茂樹
東近江市 森下 寛一
東近江市 榎田 博信
米原市 村田 吉朗
米原市 相馬 康秀
米原市 山本 等
米原市 荒尾 太郎
長浜市 北川 一徳
長浜市 中村 修爾
近江八幡市 中西 権一
伊賀市 西浦 實
伊賀市 松賀 多賀 斎
伊賀市 高西 裕三
伊賀市 前田 榮一
伊賀市 砂岡 栄一
志摩市 大屋 富弘
桜井市 石河 敏正
宇陀市 森田 芳美
相模郡 永田 正明
久世郡 神谷 優子
和泉市 切坂 啓三
伊丹市 佐藤 康夫
丹波篠山市 松本 豊

新任講長他役員・世話係ご紹介

米原市 松田 正雄
郡上市 塚原 宣夫
大垣市 古田 明美
大垣市 水野 英治
彦根市 西川 哲夫
東近江市 北川 豊治
大垣市 清水 恭一
松本市 田中 宏幸
東近江市 村井 佐敏
丹波篠山市 平野 一章
長浜市 山田真理子
丹波篠山市 大堀 寛昭
大垣市 古田 圭司
彦根市 中川 丈夫
東近江市 福田 幸司
甲賀市 植西禮之輔
長浜市 清水 金幸
長浜市 小川 成生
東近江市 板谷 孝男
米原市 中原 武彦
安八郡 吉田 章
木津川市 楠原 英俊
長浜市 川村 啓人
岸和田市 橋本 正子
一宮市 笥 った子
不破郡 吉村 和男
綴喜郡 西出 康夫
駒ヶ根市 松原 保夫
長浜市 矢野 旦二
野洲市 藤下 明伴
甲賀市 岨中 詔二

(再任を含む・敬称略)

(令和四年七月現在)

何卒よろしく申し上げます。

可児郡 駒島 嘉輝
近江八幡市 竹田多郎治
津市 小淵 和郎
東近江市 位田 才之
丹波篠山市 中澤 友和
東近江市 田井中豊次
東近江市 川越慶次郎
名古屋 林 晃弘
丹波篠山市 土井 幹公
伊賀市 上田 一善
長浜市 太中 孝
甲賀市 上田 幸広
尼崎市 島中 勝史
郡上市 田中 義久
大垣市 三輪 説次
東近江市 小堀 隆治
知多市 林 秀興
大垣市 伊藤 誠吾
甲賀市 大西弥寿弘
知多市 加藤 雄二
三方上中郡 松田 久由
守山市 村井 源一
木津川市 小森 宏三
安八郡 小倉 美香
大垣市 山下 雅弘
蒲生郡 井上 清定



全国の多賀講ご紹介

全国には二五〇社の多賀神社があります。その内の一社、知多半島の武豊にも（武豊多賀神社）お多賀さまがお鎮まりになっています。この神社を母体とし武豊多賀講が結成され、毎年二月にはお揃いの法被姿でお参り頂きます。この度、ご寄稿を頂きましたのでご紹介申し上げます、益々のご隆盛をお祈り致します。



武豊多賀講 氏子総代
鈴木 重久

武豊多賀神社、氏子総代の鈴木重久です。



武豊多賀神社大祭記念
令和元年三月

武豊多賀神社は祖父から三代目、講幹事や会計などに携り、令和元年より武豊多賀講総代を拝命、現在二期目となります。武豊多賀講は、代々一家の長男が継承する習わしです。三十七戸が神社地を総有にしてお多賀さんをお守りして来ました。総代の役目は、武豊多賀神社を連綿と次代に繋ぐことです。しかし、神社地の総有者相続が子孫におよび一〇八名になったことから、まずはこれを総代に名寄せして、拝殿改築出来る環境に整備する必要がありますがありました。五年掛かりで名寄せして、御遷宮とお稚児行列を斎行、武豊多賀神社が国策で当地に遷され、祠を祀った日から鎮座百年を記念して、社務所の改修と稚児行列を斎行しました。武豊多賀神社のご神威を高め皆様に御参り



春祭りでの山車の曳き込み奉納

頂く環境づくりに努め十五年、皆さんのご奉仕のお陰でその一つ一つが叶えられました。武豊多賀神社の地域安寧を見守る仕組みとして、境内の余剰地を地域の防災公園に、社務所を地元の方々に利用頂ける施設に改修し運営する事としました。地域の氏神様も後継者や少ない予算での運営に苦慮されています。多賀講継続の仕組みとして講員を増やして、誰もが参加できる地域

のお多賀さんにする。人が羨む多賀講にすることではないか、そんな思いから武豊多賀神社の祭事として、大祭での餅まきや、年越しの甘酒御神酒のふるまい、春祭りに山車を境内に曳き込み地元の方神さんとして親しまれる環境にも努めています。大正から昭和には、当地に入植し開拓に苦勞した方々の頼母子講として、助け合いと憩いの場としてのお多賀さんであったと言い伝えられています。六貫山の地名も多賀に改名、地域コミュニティの中心として、防災公園としてランドゴルフも楽しむ、毎年二月には多賀大杜様への代参、年々歳々、講当番組の一年が始まります。武豊多賀神社の祭事として厳肅に且つ楽しみながら三月に大祭と講総会、四月には春祭り、そして山車の曳き込み奉納を斎行します。地域の安寧を願う。これこそ人の和を大切にする武豊多賀講の精神としてお多賀さんをお守りして参ります。



正月には祭り囃子が奉納されます

万灯祭ご献灯

ありがとうございますございました

本年も神賑行事の無い静かな万灯祭となりましたが、多くのご献灯を頂き、三日間無事執り行うことが出来ましたこと、厚く御礼申し上げます。
紙面の都合上、一万円以上のご献灯者名を掲載しております。
なお、戒名は申込者名で、連名は代表者名にしております。

(順不同・敬称略)

二万円灯

五灯

滋賀県

多賀町 多賀大社 頭人会

彦根市 彦根市 茶木 利男

森野税理士事務所

栗東市 栗東市

三灯

愛知県

山本 守男

二灯

滋賀県

多賀町 多賀組

大津市 大津市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

一万円灯

三灯

滋賀県

豊郷町 上田 達也

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

二灯

滋賀県

大津市 大津市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

一灯

滋賀県

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

彦根市 彦根市

百匠屋 西村 嘉人 (有)セイファ 中嶋 喜代治 草野 浩一 松井 匠 鈴木 政造 富士印刷(株) 川崎 隆嗣 鈴木 茂 廣内 眞作 阪口 翠 湯本 聡 湯本 佳代子 若林 成一 倉 雅子 藤井 恒夫 赤尾 栄司 草野 弘明 東近江市 吉岡ウエビング(株) 廣瀬 傳治 東野 圭吾 藤川 利夫 メール設計 深尾 忠一郎 辻 吉弘 波多野 博志 辻 義一郎 (株)SCREEN SPE 石垣 貴店 植田 光男 藤野 礼子 村山 元 河原崎 智久 森野 善一 松本 吉史 大湖産業(株) 木下 義隆 井口 博史 今堀 利太 福永 信行

7

トミ工板金

今堀 丈次

今堀 豊

木下 宣弘

脇 弘喜

森野 角男

今堀 敏仁

井口 哲司

井口 俊二

今堀 九一郎

杉田 篤

宮本 昭彦

(有)窓快工房共栄

谷 若子

タカギ電設

彦根市

節分会旧河瀬支部

中村 利任

今村 英二

居川 外實

小川 正己

(株)シンセイ

田中電気設備管理事務所

寺沢 節男

奥野 幸治

尾田 加代子

渡邊 幹雄

(株)北川鉄工所

(株)王本

一園 億夫

清水 克己

横山 満三

塚本医院

川上 美佳

平井 治

(有)シャトー尾本

上田 善治

木村 康夫

木村 泰造

木村 えり子

(株)剛友製作所

堀口 敏明

西山 恵和

(株)千成亭風土

相川 努

田中 進

文村 俊治

岡野 嘉彦

久野部えんしち駐車場

栗東市

岩田 和子

中村 良夫

傍島 浩哉

山田 幸男

高木 喜弘

谷 基彦

大前 英生

橋本 幸夫

若山 義昭

岡崎 弘則

佐久間勝義

安藤 善康

安藤 明美

矢澤 ほな美

かめや云

横張 奈々

堀内 由美子

堀内 集也

山下 恒子

長野県

小日向義夫

轟 速人

富山県

柴野 裕一

柴野 文江

石川県

山下 友輔

山下 香奈

神戸 能富子

沢柳 健二

吉村 真幸

中川 信幸

大谷 千代子

坪内 ゆか

柴田 好子

萩原 良幸

高木 しずを

西川 宏臣

(株)旭ハウジング

藤本 肇

CPサロージャスミン

中川 佐多雄

細溝 文吾

守山市

杉江 周作

(株)千成亭風土

野洲市

藤井 利幸

藤井 礼子

深田 義廣

北村 博子

神奈川県

柴原千恵美

阿部 光正

前田 勝治

林 久雄

(株)森ブロック

細野 利男

林 正三

國嶋 昇

荒澤 志津子

小野 美恵子

小野 圭子

加藤 幸光

岩村美代子

岐阜県

武藤 裕恵

武藤 喜美夫

武藤 善美子

武藤 孝

堀江 清道

堀江 清道

安藤 孝

荒澤 志津子

小野 美恵子

小野 圭子

加藤 幸光

岩村美代子

福井県

高橋 麗子

牧野 友治

田本 憲恭

堀俊代子

堀 正一

岡田 芳弘

岡田 芳弘

小林 進

杉山 恒夫

中島 良雄

武藤 喜美夫

武藤 裕恵

武藤 善美子

武藤 孝

酒井田 卦市

嶋崎 良造

岡田 原幸

渡辺 朝香

川瀬 昇

篠田 仁徳

静岡県

後藤 数馬

安間 紀雄

島澤 仁

山内 トシ

榎葉 保

石山 博昭

原田 堅一

小野 恵美子

小野 弘太郎

丸生 義隆

平井 優一朗

愛知県

服部 宗彦

鈴木 美知代

中野 秀明

神保 義之

福山 博務

足立 り美

加古 雅雄

加古 誠治

伴 繁夫

足立 泰俊

石黒 満昭

宇野 里津子

山中 卯津樹

石中 英明

田中 正道

田中 美代子

服部 由明

溝口 隆弘

田口 信二

井戸 欽次

佐伯 砂登子

佐藤 要子

坂井田 みち子

坂井田 明日

坂井田 彩日

坂井田 悠日

浅野 泰弘

浅野 昌宏

大岩 房子

山北 仁一

高橋 英明

森美都里

原 勝子

島本 哲夫

木村 十三日

芳田 一美

黒谷 信枝

森 主税

加藤 一巳

岡田 芳弘

堀 正一

堀俊代子

小林 進

杉山 恒夫

中島 良雄

武藤 喜美夫

武藤 裕恵

武藤 善美子

武藤 孝

酒井田 卦市

嶋崎 良造

岡田 原幸

渡辺 朝香

川瀬 昇

篠田 仁徳

梶田 佳代

しあわせのサンゴ

伊藤 喜紀

(株)ニテック

小川 和江

石原 義隆

田中 末子

中西 みち

岸川 豊

廣井 壽

久野 博足

富本 一久

近藤 小有里

不破 政子

玉田 光利

神谷 光枝

北川 幸太郎

平林 勝

小澤 郁子

原田 千種

(株)マルキ化成工業所

竹市 恭子

石川 欣志

山田 一枝

伊藤 勉

近藤 泰憲

伊藤 美代子

高橋 保旨

後藤 金成

川口 成成(株)

吉田 秋光

中島 一紀

中島 康弘

中川 久太郎

中川 貴之

中川 恵美子

中川 廣子

藤田 佳孝

安藤 種雄

深谷 審一

小島 富代

小島 清成

池野 良孝

小島 新市

鈴木 英世

鈴木 良弘

伊藤 公子

柴田 厚子

澤田 恒子

小出 紀子

永一産商(株)

中島 暉夫

中島 静枝

梶浦 登

松村 宏造

加藤 肇

服部 嘉江

高木 笑子

古田 孝之

鍋島 充志

寺本 米子

城 嘉孝

加藤 輝和

木下 節男

長谷川 雅俊

吉川 兼人

佐藤 博一

山田 民子

(株)サマフ運輸

内海 宜久

成瀬 繁一

守山 邦雄

長谷 光子

牧野 年宏

牧野 隆司

熊谷 幸恵

熊谷 美紅

鈴木 秀実

三重県

小泉 邦也

竹島 昌七

山口 傑

島子 規子

伊勢国産(資)

大西 良和

大西 京子

富田 昌孝

市川 誠郎

伊藤 義清

河村 洋一

前橋 保彦

大池 志き子

伊藤 美喜雄

福地 博

福地 はま子

福地 ます

家田 宗雄

平野 正治

児島 喜美子

星川 文三

山内 欽昌

中野 修

石黒 義孝

石黒 幸志

村城 榮子

小野 正義

藤井 敏広

京都奉製(株)

大阪府

森 克良

木村 俊子

木村 光里

伊藤 要一

吉田 成男

嶋川 正夫

奥一夫

中嶋 博子

平良 尚子

旗壁 裕久

江島 史朗

江島 毅

西 慧

奥野 正次

ダイワ工業(株)

中田 稔子

成田 桃

成田 雅賀

川本 紀子

中谷 翼

南 忠明

南 和子

南盛徳

折戸ミサ子

多賀 義高

北浦 康宏

藤田 康雄

ヨシタ印刷(株)

阪本 翔利

畑 肇 廣

久保 孝次

谷口商事(株)

脇井 正司

西尾 正彦

西尾 和美

中川 和子

兵庫県

米谷 登

(医)オナ倉橋齒科

松田 理恵

住友 修

服部 慶子

山本 香桑

村上 勝男

田中 潤平

藤井 眞作

奈良県

後 明果

西岡 憲作

柚木 花恵

和歌山県

小鯖 恵

小野 正人

小野 登紀子

島根県

因原神楽団

岡山県

寺山 美代子

内田 雄大

内田 啓次

吉岡 啓次

白神 隆義

広島県

中津 桃子

香川県

須崎 義雄

毘沙門院

野上建設(株)

福岡県

柿島 秀敏

宮崎 チヅヨ

(有)多賀瑞祥

河野 隆

川原 信幸

佐賀県

秋山 雅美

長崎県

熊本県

橋爪 誠一

多賀大社

インスタ de フォトコン

優秀賞



kei_shk1221 様



michiyo01130312 様



porte_bonheur.noriko 様



miki_camera21 様



tiens_82 様



tkht4264137 様



yasuyukky_83 様



y_____1010 様

最優秀賞



atsushi_portfolio 様

宮司賞



__kaoru 様

今後も魅力ある多賀大社の写真をInstagramで投稿していきたいと思ひます。
是非、多賀大社をフォローして下さい。

今回応募頂いたすべての作品を見る事も出来ます。

🔍 #多賀大社インスタ de フォトコン ✕



@tagataisya.official



十月二十一日より全国公開予定の映画「線は僕を描く」の撮影が、多賀大社で行われました。当日は主演の横浜流星氏を始め、三浦友和氏・江口洋介氏等、豪華俳優陣が撮影に臨み、多賀町民もエキストラで参加するなど境内は緊張感溢れる雰囲気になりました。この映画では多賀大社の他にも県内各地で撮影がされたようです。

是非、劇場で確認してみてください。

『線は僕を描く』 映画撮影

新授与品 ご紹介

大切な人とおそろいで

当社のご祭神である伊邪那岐命・伊邪那美命は、日本最古の夫婦と言われ縁結びのご利益があると伝えられています。

大神様のご神徳にちなみ、このたび「幸守」を奉製致しました。

ご夫婦・恋人・友達など大切な人とおそろいでお持ち頂き、多くの幸せが訪れますようにお祈り致します。



さちまもり 幸守 初穂料 1,600円

ご安産祈りをお守りに

新たに桐箱入りのご安産お守りを奉製致しました。

愛らしい「おくるみ」に包まれた赤ちゃんお守りは、当社の巫女が考案し無事元気な赤ちゃんが生まれるよう祈願致しました。

また、大神様とのお神縁を永遠にお結び頂けるよう、桐箱はへその緒入れにもご利用いただけます。



安産御守(桐箱入) 初穂料 1,200円

御砂と御塩で方除けを

古くから、方角・方位には吉凶が存在すると伝えられ、砂や塩を敷地に撒くことで災いを祓い、吉報を招き入れる風習があります。

当社では御神砂・御清塩をご自宅や会社の玄関等に据え置き災禍を祓う「方除御塩砂」をお頒ち致しています。



ほうよけ みしおずな 方除御塩砂 初穂料 1,000円

キャッシュレス決済試験導入

当社に於きましても社会的風潮に鑑みてPay Pay（ペイペイ）QRコードによるキャッシュレス決済の試験的導入をはじめました。参加者からは一部おどろきの声も聞かれますが、興味本位も相俟って予想を超えるご利用が見られます。

対象は「おみくじ」と「御朱印」のみですが、参加者の利便性向上やコロナ禍における接触リスクの回避等も意図しております。



年越大祓式

大祓は六月と十二月の晦日に行われ、人形代（ひとがたしろ）に家族の名前を書いて、知らず知らずのうちに犯した罪や穢れを川や海に流す古来より伝わるおはらいの神事。

十二月の大祓は「年越の大祓」と称し大晦日の午後三時から境内で執り行われます。ご家族お揃いでご参列頂き、心身共にリフレッシュして、新しい年をお迎え下さい。



灯籠奉納

この度、自動車お祓所より進む稲荷神社参道口に灯籠が建ちました。

ご奉納頂いたのは、現在行われている車戸川護岸修復工事を請け負っている、彦根市の伊藤石材店様です。

ご篤志に感謝申し上げますと共に、今後益々のご隆昌をお祈り致します。



人事

昇進

【宮 司】片岡 秀和〈神職身分一級浄階に昇級〉
（令和四年 三月 一日付）

【権 禰 宜】藤野 功〈神職身分二級上に昇級〉
（令和四年 三月 十日付）

採用

【巫女兼事務員】相川 千尋
（令和四年 三月 十五日付）

【巫女兼事務員】岡山 育美
（令和四年 三月 十五日付）

退職

【巫女兼事務員】岸邊 美羽
（令和四年 三月 三十一日付）

【巫女兼事務員】奥田 希亜
（令和四年 三月 三十一日付）

社報バックナンバー

多賀大社のホームページより「社報多賀」のバックナンバーが閲覧出来るようになりました。2016年No.56号から2022年No.67号までを掲載しておりますので、一度ご覧下さい。

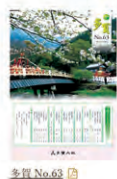


過去の社報

2021年



2020年



2019年



お子様の成長をお祝いし感謝する
七五三。

千歳飴を始め、選べるおもちゃを
用意してお待ちしております。

ご家族お揃いにてお参り下さい。

■令和4年七五三まいり

祝い年	対象	数え年	満年齢
3歳	男の子 女の子	令和2年生	平成31年生 令和元年生
5歳	男の子	平成30年生	平成29年生
7歳	女の子	平成28年生	平成27年生

※数え年、満年齢どちらでも承ります。

■ご祈祷料

	拝殿一般祈祷	本殿特別祈祷
1人	5,000円	10,000円
2人	8,000円	13,000円
3人	10,000円	15,000円

2・3人の場合はきょうだいに限ります
毎日9時～16時随時受付

多賀大社で七五三

感動をそのまま思い出に
多賀大社

七五三 記念パック

祈祷 衣装 写真

3点セットで おひとり様

25,000円

期 令和4年9月1日～12月15日

祈祷

選べるおもちゃつき

衣装

多彩な衣装をご用意

写真

6切プリント1枚(お持ち帰り)

平日ならさらにうれしい!

平日 2大特典!

4分間シールプリント(1枚)進呈 1,100円(税込)相当

足袋レンタルサービス 550円(税込)相当

※本殿祈祷は追加5,000円 ※一部ブランド衣装は別途料金がかかります。

予約制 記念パックのご予約方法

フリーダイヤルへお電話
いただき、担当スタッフと
お打ち合せください。

0120-43-6160

9:00～16:00/水曜定休

撮影に関する
お願い

神社敷地内での外部カメラマンによる撮影は厳しくお断りします。

記念写真の撮影は、当社写真部(被写体)が利用ください。

多賀大社

0749-48-1101

七・五・三のご案内

挙式・披露宴 承り中



ウェディング 見学会 開催予定

令和4年12月11日(日)

午前11時～午後5時

- 神前式体験
- 無料試食会

要予約

詳細についてはお問合せください

夫婦の神様に誓う
日本の結婚式

結婚式はおふたりの一生に一度の大切な日。そしてその日は夫婦としての出発の日でもあります。多賀の杜に抱かれて、今日まで過ごした家族とこれから一緒に過ごす家族と一緒に歩く。

数えきれないほどの思い出と新しい人生の始まりを胸に感じながら…

お多賀さんでお祝いの食事会



会席膳 5,500円



松華堂 3,300円



お子様ランチ 1,650円

完全予約制

お食事・記念写真

※写真はイメージです。

※別途サービス料を頂戴致します。

初宮参り・七五三参りなど人生を記念する日には、多賀大社参集殿でのお祝いのお食事会はいかがでしょうか。記念写真のご予約も承っております。

お申込み・お問合せは
多賀大社参集殿まで

参集殿直通

0749-48-1103

参集殿HP

多賀大社参集殿

検索



Instagram

#多賀大社参集殿

当館は
新型コロナウイルス
感染症拡大防止対策を
実施しております。

今年もお多賀さんへ初詣

来年の干支は癸卯（みずのとう）年です。
癸（みずのと）は植物の内部に出来た種子が
大きさを測れるまで大きくなった状態を意味し、
卯（う）の漢字は左右に開いた扉を
意味していると云われます。

コロナ終息と云う希望の種子が徐々に大きくなり、
我々が抱える閉塞感と云う扉が
一日も早く開かれる事を願っております。



えと一刀彫

四色えと鈴

えと鈴

えと張子…………… ￥1,000
首振りえと張子…………… ￥1,500
べにかぶらや
紅鐺矢…………… ￥2,000
からすあや
烏鐺矢…………… ￥2,000
守護矢…………… ￥1,000

えと鈴…………… ￥1,000
四色えと鈴…………… ￥800
熊手（特大）…………… ￥10,000
熊手（大）…………… ￥5,000
熊手（中）…………… ￥3,000
熊手（小）…………… ￥1,000

首振りえと張子

えと張子



多賀大社

〒522-0341 滋賀県犬上郡多賀町多賀 604
tel.0749-48-1101 fax.0749-48-1105
✉ info@tagataisya.or.jp

多賀大社

検索

<http://www.tagataisya.or.jp>



— ご送金時のご注意 —

郵便局で現金によるご送金の場合、払込み頂く
金額以外に110円の加算料金が皆様のご負担
となります。

編集後記

今回はじめての試みとしてインスタグラ
ム上でのフォトコンテストを開催しま
した。

昨今、神社界もSNSを中心とした広
報活動を広げております。また、従来の
フォトコンテストではカメラ経験の無い
人には参加しにくいイメージがあった為、
気軽なインスタグラムへの投稿による応募
形式を採用しました。

普段の何気ない神社の風景も写真を撮
ること新たな気づきへと繋がった方も
おられるのではないのでしょうか。

「映える」もいいですが「素朴」もい
いです。

定期開催ではない為、次回の開催は今
のところ未定ですが、SNS等また告
知致しますので、是非ご応募下さい。



@tagataisya.official



@tagataisya